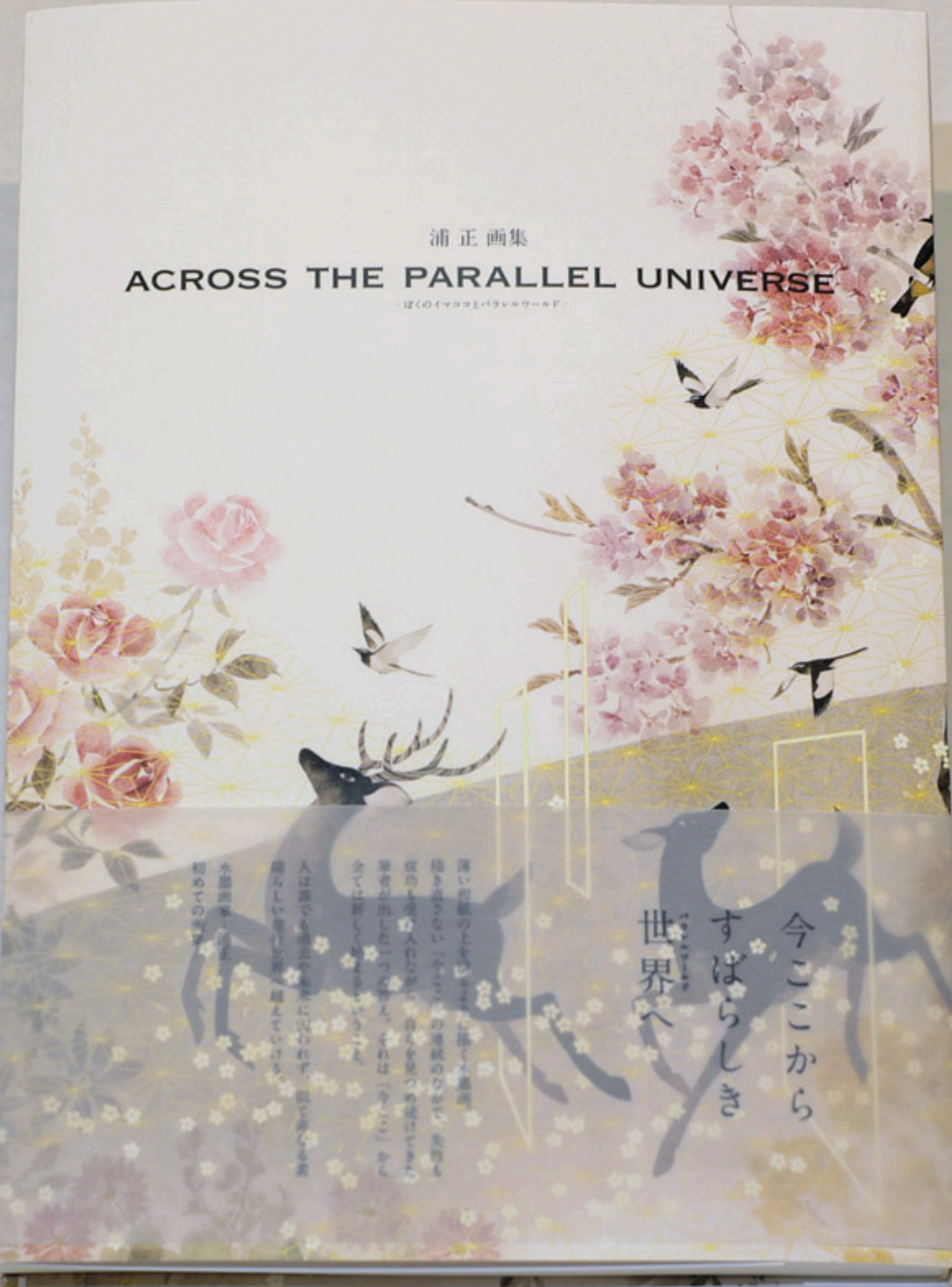


浦正画集
ACROSS THE PARALLEL UNIVERSE

『このイマココとパラレルワールド』



今ここから
すばらしき
世界へ

薄い和紙の上を、ゆらゆらと揺る水蒸気
揺る揺るしない。今ここ。の連続のりかて、失敗も
成功も受け入れながら、自らを見つめ続けてきた
筆者が出した一つの答え、それは「今ここ」から
全ては新しく始まる。ということ。
人は誰でも過去や未来に囚われず、似て非なる重
層らしい世界へ、届えていける。
水原真実、浦正
初めての対岸

浦正画集
ACROSS THE PARALLEL UNIVERSE



清正画集
ACROSS THE PARALLEL UNIVERSE
HIGASHIYAMA



あるところにある。探し物をしてる少女がいました。探し物に、少女は自分が何を探しているのかよく知りませんが、その探し物が見つかる、とても嬉しくて爽快で、嬉しくてなるということだけは不思議とわかっていました。ある日一匹のヤギがやってきて、見たこともない美しい黄ひげの少女に逢って話しました。

「これは君の花だろ？ いつも君のそばに咲いてるね。」少女はその小さな手の中で輝く一輪の花を眺めているうちに、ずっとうるさなことに気がつきました。

その美しい花がずっと前から少女の足もとに咲いていたこと、の輝きを一度もちゃんと見たことがなかったこと、そしてそれが良いあいた探していたものだということ。

探し物をついに見つけた少女は、それからというもののそのたびに、とても嬉しくてドキドキしました。次に空に舞うはてな愉快な気分になりました。そしてじんわりと心の奥に、その探し物のやうな。







うたかた
よあけのつた
おれあて
あめのもこ
みひあひし
みひあひし





さあいこう
ぼくといっしょに
どこまでも
どこまでも
どこまでも
きみがいきたいところに
いっしょにいこう



